

PBL II -24 五感を刺激するワークショップ°実践／Project Based Learning II

担当教員／Instructor 端山 聡子(美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻), テキスタイル教員(美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻)

対象学年／Eligible grade - 開講学期／Semester 2019年度／Academic Year 通年／One-Year

授業形態／Type of class

時間割コード／Registration Code PB24 単位数／Credits 2

備考／Remarks

オフィスアワー／Office hours

【サブタイトル／Subtitle】

【授業のねらい／Course Objectives】

五感（視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚）に働きかけるワークショップの組み立てに学生が積極的に参画することで、企画・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を鍛える。

前期では、使う素材や、ワークショップの実践方法や考え方について概要を学ぶ。7月にコミュニケーションをテーマにした小さなワークショップをグループワークで実践する。

後期では前期での経験を踏まえ、芸術表現をテーマにワークショップを企画し、グループワークで実践する。

今年度は相模原市内の特別支援学校（高校生）を対象とし、前期・後期に各1回、生徒たちと交流しつつ、表現者としての高校生の可能性を引き出すようなワークショップをおこない、最後にまとめを制作する。

【到達目標／Course Goals】

グループワークでの、ワークショップの企画・実践ができるようになる。

【授業の展開計画／Class schedule】

- 1 オリエンテーション 授業の進め方説明
- 2 ワークショップ概論 歴史的な変遷
- 3 教えること、学ぶことの意味
- 4 ワークショップの実践例の紹介①
- 5 ワークショップの実践例の紹介②
- 6 ワークショップ素材・道具研究①
- 7 ワークショップ素材・道具研究②
- 8 コミュニケーションワークショップ案の作成と試行①
- 9 コミュニケーションワークショップ案の作成と試行②
- 10 特別支援学校と生徒（講義）
- 11 ワークショップ準備①
- 12 ワークショップ準備②
- 13 ワークショップ実践
- 14 実践の振り返り
- 15 ワークショップの方法と考え方
- 16 課題の発表
- 17 五感に働きかけるワークショップ立案①
- 18 五感に働きかけるワークショップ立案②
- 19 五感に働きかけるワークショップ立案③
- 20 ワークショップの準備①
- 21 ワークショップの準備②

【履修上の注意事項／Notices】

五感に働きかけるワークショップの実践に関心のある学生、表現と人間のコミュニケーションに関心のある学生の履修を望みます。

【評価方法／Evaluation】

出席やワークショップへの参加・協力度で評価

【テキスト／Textbooks】

授業内で随時配布

【参考文献／Bibliography】

授業内で紹介

【準備事項／Preparation】